

都立忍岡高等学校 令和8年度 教科：家庭 科目：生活産業情報

教科：家庭 科目：生活産業情報 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 E組～F組

教科担当者：(E組：) (F組：)

使用教科書：(実教出版『生活産業情報』)

教科 家庭

の目標：

- 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わり【知識及び技能】について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする
- 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う

科目 0

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活産業における情報の意義や役割を理解し、情報処理に関する知識と技術が身についている。	文書作成・表計算・プレゼンテーションなどのソフトを使って情報を適切に処理する能力が身についている。	情報メディアと情報を適切に活用し、情報モラルやセキュリティ管理に精通し、リーダーシップを取れるような能力が身についている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第一章 情報化の進展と社会 【知識及び技能】 情報処理に関する知識と技術が身についている。 【思考力、判断力、表現力等】 文書作成のソフトを使って情報を適切に処理する能力が身についている。 【学びに向かう力、人間性等】 情報化の進展に伴う課題について理解し、自ら調べることができる	・指導事項 情報社会についての概要 情報化が進展したことによる生活や産業の変化 情報化社会の問題点 校歌の入力 ・教材 教科書 テキスト ・一人1台PCの活用	【知識及び技能】 情報化された社会の現状を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 作成したデータやファイルを適切に管理できている 【学びに向かう力、人間性等】 身近な事例から情報化の進展について考え、自らの生活を振り返ることができる	○	○	○	4
	第二章 情報モラルとマナー 【知識及び技能】 ネットワーク社会のモラルとマナーについて理解できている。個人情報や知的財産権について理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 文書作成ソフトを活用し、わかりやすく伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 例題に沿って課題を解決するよう自ら取り組む	・指導事項 情報モラル 知的財産権と著作権 個人情報とプライバシー パスワードの管理 コンピューターウイルス対策 ・教材 教科書 テキスト ・一人1台PCの活用	【知識・技能】 ネットワーク社会のモラルとマナーについて、具体的な事例を踏まえて理解している 【思考・判断・表現】 文書作成ソフトを活用し、人にわかりやすく情報を伝えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活の中で他人の権利を侵害していないか等、自身の情報管理を振り返ることができる	○	○	○	10
	第三章 コンピュータとプログラミング 【知識及び技能】 情報機器の基本構成と、機能・動作を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 シュミレーションやプログラミングがどのような場面で使われ、その有効性について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 例題に沿って課題を解決するよう自ら取り組む	・指導事項 情報機器の基本構成 モデル化とシュミレーション プログラミング 学校PR新聞 ・教材 教科書 テキスト ・一人1台PCの活用	【知識・技能】 情報機器の基本構成と、それぞれの役割を理解している 【思考・判断・表現】 文書作成ソフトを活用し、人にわかりやすく情報を伝えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 学習ノートを活用し、情報に関する用語を復習し、それぞれの意味を説明することができる	○	○	○	10
2 学 期	第五章 プレゼンテーションソフトの活用 【知識及び技能】 プレゼンテーションソフトの概要を理解し、操作方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 プレゼンテーションソフトを活用し、情報を相手に分かりやすく伝えられることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 プレゼンテーションを活用し、実際に人に伝わるような発表をすることができる	・指導事項 テーマを設定し表紙を作る スライドと画像の挿入 吹き出し・表、図形の挿入 プレゼンテーション効果 ・教材 教科書 テキスト ・一人1台PCの活用	【知識・技能】 プレゼンテーションソフトの概要が理解でき、プレゼンテーションの構成を立てることができる 【思考・判断・表現】 PowerPointの技術を活用し効果的なプレゼンテーションの資料を作成することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 作品の構成を考えて素材を集め、計画的に作品を完成し、発表することができる	○	○	○	8
	第五章 表計算ソフト 【知識及び技能】 表計算ソフトの概要を理解し、資料を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 表計算ソフトを活用し、情報を整理し分かりやすく伝えられることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 例題に沿って課題を解決するよう自ら取り組んでいる	・指導事項 データの入力 文字の書式設定 計算式の入力 データの編集 グラフの作成 ヘッダーの入力 Excel実技試験 ・教材 教科書 テキスト ・一人1台PCの活用	【知識・技能】 表計算ソフトの機能を理解し、操作することができる 【思考・判断・表現】 表計算ソフトの使い方を理解でき、人に伝わりやすい資料を作成することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 データを適切に活用した表計算ソフトをつくり、自分の生活に生かそうとする	○	○	○	10
3 学 期	文書デザイン検定対策 【知識及び技能】 文書デザイン検定1級の技能を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ワープロソフトを使って文書をデザインすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 作品を振り返り課題を見つけ、次に生かすことができる	・指導事項 練習問題1～10 ・教材 教科書 テキスト ・一人1台PCの活用	【知識・技能】 文書デザイン検定練習問題に取り組み文書作成ソフトの使い方が理解できている 【思考・判断・表現】 文書作成ソフトを使い分けたりやすく文書を作ることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の作成した文書の問題点をみつけ、次回に生かすことができる	○	○	○	10
	文書デザイン検定フレ試験 【知識及び技能】 文書デザイン検定1級の技能を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ワープロソフトを使って文書をデザインすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く検定試験に向けて取り組むことができる	・指導事項 過去問題 ・教材 教科書 テキスト ・一人1台PCの活用	【知識・技能】 文書デザイン検定練習問題に取り組み、文書作成ソフトの使い方が理解できている 【思考・判断・表現】 文書作成ソフトを使い分けたりやすく文書を作ることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の作成した文書の問題点をみつけ、次回に生かすことができる	○	○	○	16
学 期	第四章 生活産業における情報デザイン 【知識及び技能】 生活産業の中で情報がどのように活用されているかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 必要な情報を伝えるための工夫を考案することができる	・指導事項 メディアの特性 情報を用いたコミュニケーション 情報デザインの課題 ・教材 教科書 ・一人1台PCの活用	【知識・技能】 様々なメディアの特性とコミュニケーション手段の特徴を理解する 【思考・判断・表現】 伝えたい情報の目的や対象の年齢などを踏まえて情報デザインを工夫することができる	○	○		2
	合計						70